

カルテ閲覧

療所の医師らが閲覧できるようにもなる。

京大病院ではこれまで1日1回だった情報提供の更新を、今後は約1時間おきにする予定。携帯電話では画像の受信やデータの保存はできないが、病院帰りなどに検査結果を見ることができるようになる。写真、吉原教授提供。ネット利用が可能な携帯電話なら、どの会社の携帯からでも利用可能という。吉原教授は「パソコンを持っていない患者にも対応できるようにになった。今年度中には翻訳システムもできる予定で、将来的には国際的なネットを目指したい」と話す。

京大病院→まいこネット

検歴情報

作成日
2008年09月19日

作成施設
京都大学医学部附属病院

診療科
消化器内科

検査セット
千葉肝
項目 := 結果値 単位

HCT := 42.8 %

HGB := 14.6 g/d l

RBC := 4.46 10¹²/L

MCV := 96.0 fl

MCH := 32.7 pg

携帯もOK

同NPO法人は07年7月、病院や診療所などが患者のデータを共有し、連携して医療にあたることなどを目指し、医療情報サービスシステム「まいこネット」(無料)の運用を開始した。同様の他地域のネットと結んだ全国ネットの一部にもなっている。

同NPO法人の理事で、京大病院医療情報部長の吉原博幸教授によると、「まいこネット」に情報を提供しているのは現在のごく同病院だけで、登録患者は約500人。登録するとIDとパスワードが与えられ、パソコンでカルテなどを見ることが出来る。患者が申請すれば、同ネットと連携する診

結果素早く

京都大医学部付属病院(左京区)など京都の病院や医療関係団体で作るNPO法人「京都地域連携医療推進協議会」(上京区)は17日、京大病院の患者がカルテや検査結果などをパソコンで閲覧できるサービスについて、今月から携帯電話でも利用できるようにしたと発表した。検査結果をいち早く確認できるなどの利点があり、他の病院の情報も閲覧できるようサービス拡大をめざす。